

令和1年度公益財団法人新潟市海洋河川文化財団 事業報告

事業概要

【期 間】

令和1年4月1日から令和2年3月31日まで

【概 要】

当財団は公益法人として、公益法人制度の趣旨に鑑み、教育文化の普及啓発事業の一層の充実を図っていくとともに、当財団の主事業である新潟市水族館の指定管理業務を単独で実施する1年目のスタートであった。

主な水族館業務として、入館者数は新型コロナウイルス感染症の影響を受ける2月までは対前年比103%と入館者への良好なサービス提供が数字となって表れた。

また、生物の育成状況としては、7月に当館では初めてとなるイルカ（カマイルカ）が誕生した。8月には1995年から飼育していたオスのトド（推定年齢27歳）が死亡した。3月には2013年から飼育していたオスのラッコ（年齢18歳）が死亡した。

対外的には、(公社)日本動物園水族館協会（JAZA）に加えて、水族館業界の発展のための調査・研究等の事業を実施する(一社)日本水族館協会（JAA）にも加盟し、2つの組織との情報共有を進め、水族館事業の一層の発展・充実を担う重要な立場となった。

なお、事業報告の詳細については、次のとおりである。

【事業名】

公益目的事業

- 1 海洋・河川文化の普及啓発、調査研究及び保護継承事業
- 2 海洋・河川に生息する水生生物とその生息環境の展示及び飼育事業

収益事業

- 1 施設管理に付帯する事業

公益目的事業

- 1 海洋・河川文化の普及啓発、調査研究及び保護継承事業

【事業目的】

新潟における海洋・河川文化の現状や変遷を調査研究及び情報発信することにより、海洋・河川文化及び海洋・河川等、人との関わり大切さを後世に継承し、併せて地域社会の持続的発展の担い手を育む。


【主な事業内容】

(1) 海洋・河川文化の普及啓発

■…新規事業

区 分	名 称	プログラム等	実施日等	参加人数	
体験学習	田んぼ体験	田植え	6月2日	27人	
		稲刈り	9月29日	中止	
		脱穀	10月14日	14人	
		わら細工	11月10日	22人	
	野外体験教室	スナガニ野外観察会■	6/15、9/14	32人	
		川の生き物観察会■	6月9日	16人	
講演会	こっそりのんびり回遊魚 ハタハタの生態と漁業■	講師：藤原 邦浩	12月6日	47人	
	研究者が語るイルカの話	講師：村山 司	3月24日	中止	
各種施設 との連携	出展展示(各種)	Nii port (展示設置のみ) ■	7月28日	7,138人	
		アルビレックス科学教室	8月17日	32人	
		だいしほくえつアカデミー	8月27日	32人	
		市場まつり	10月20日	約1,000人	
		青空祭 (青陵大学学祭)	10月26日・27日	約60人	
		にいがた環境フェスティバル■	11月10日	約3,000人	
		ちょ～生きもの発表会	12月8日	約400人	
	社会教育施設連携	水族館で渦普請(みなとぴあ連携事業)	10月6日	8人	
	学校教育連携	総合学習の受け入れ	小学校4校、中学校16校、中等教育学校4校、特別支援学校2校、高校2校、専門学校1校計29校		412人
		実習生の受け入れ	獣医実習：大学5校、博物館実習：大学1校、飼育実習：大学7校、専門学校6校 計19校		26人
		教育現場への講師派遣	小学校4校、中学校2校、専門学校1校、大学1校 計8校		派遣9人
	講師派遣	シナイモツゴ勉強会(タランベクラブ：関川村)		6月22日	34人
		公開臨海実習 (新潟大学)		8月6日～8日	41人
		親子魚探検隊(生物多様性保全ネットワーク新潟)		8月4日・9月8日	51人
		川の生き物観察会(タランベクラブ：関川村)		8月10日	58人
		まちなかキャンパス (長岡市)		8月12日	38人

(2) 海洋・河川文化の調査研究

 新規事業

区分	名称	内容
研究発表	J A Z A (日本動物園水族館協会) 関連	水族館技術者研究会 ・口頭発表「人工育成したアカムツの親魚養成技術開発への取り組み」 海獣技術者研究会 ・口頭発表「J A Z A 水族館部の支援を受けたカマイルカの飼育下繁殖例」 ・口頭発表「国内飼育カマイルカの遺伝的集団構造分析」(共同研究) など
	その他研究会・学会等	動物園水族館教育研究会 ・ポスター発表「マスメディアを介した情報発信に教育普及効果はあるか」 JACRE トレーニングセミナー ・口頭発表「野生と危険：論文紹介及びまとめと提言」 日本野生動物医学会大会 ・ポスター発表「胃癌のフンボルトペンギンの胃洗浄液の細胞診所見」 ちょ〜生きもの発表会 ・口頭発表「マリンピア日本海のピオトープ ～7年目のにいがたフィールド～」 など
各種会議	J A Z A 関連	通常総会、イルカ会議、バンドウイルカ・カマイルカ合同計画推進会議、魚類作業部会、参加型研修会、ブロック研修会 など
	その他会議	ハクバサンショウウオシンポジウム、水産庁委託「さけます等栽培対象資源対策委託事業 新規栽培対象種技術開発(魚類)グループ」研究計画会議、JACRE 通常総会、ダイバーシティネットワーク会議、里潟研究ネットワーク会議 など
共同研究	J A Z A	ユーラシアカワウソの泌尿器疾患にかかる研究・栄養評価
	水産機構日水研・富山水研 <small>研</small>	アカムツの種苗生産技術の開発研究及び親魚養成技術の開発
	水産機構日水研 <small>研</small>	ニギス人工授精試験
	岐阜大学	カマイルカの繁殖生理の季節性や生殖腺活動の状況などの調査、ラッコの繁殖生理の季節性や生殖腺活動の研究
	三重大学	カマイルカの精子凍結保存実験に関する研究
	常磐大学・東京海洋大学 <small>研</small>	カマイルカの出産に伴う鳴音の変化及び仔の音声発達に関する研究
	新潟大学	イルカから水中で無侵襲的に脳波を記録する方法を確立するための研究
	日本獣医生命科学大学 <small>研</small>	バンドウイルカとカマイルカの代謝モニタリング調査
	日本大学	ペンギン類の鳥マラリア感染に関する研究
	上智大学 <small>研</small>	タツノオトシゴの育児嚢の形成過程や育児嚢の機能に関する研究
	水産大学校 <small>研</small>	アカムツ対光行動に関する研究
ふくしま海洋科学館 <small>研</small>	間瀬沖 ROV 深海生物調査	

(3) 海洋・河川文化の保護保全（生物種の保全を含む）

区分	名称	内容	回数
生息域内 保全	シナイモツゴ調査	県内の希少淡水魚の生息調査	3回
	ハクバサンショウウオ調査	糸魚川市の両生類の生息調査	2回
	コシノハゼ調査	県内の希少淡水魚の生息調査	3回
	ROV（水中探査機）	間瀬沖で深海生物の調査	1回
連携調査	夏休み親子魚探検隊	生物多様性保全ネットワーク新潟の自然観察会への講師派遣	2回
	親子で川遊び－川の生き物観察会	タランベクラブの自然観察会への講師派遣	1回
生物調査	漂着生物調査	県内の海岸に漂着した生物調査	23回

2 海洋・河川に生息する水生生物とその生息環境の展示及び飼育事業

【事業目的】

新潟の自然環境とそこに生息する水生生物の展示を基礎としながら、多種多様な環境の生物を展示し、各種体験型プログラムを実施することで、市民が海洋・河川や水生生物などに親しむ機会の充実などを図り、海洋・河川に関心を持つきっかけとなる機会を創出する。

【主な事業内容】

(1) 水生生物に関する知識の普及振興

☎・・・新規事業

名称	プログラム	内容	実施日	参加人数
いきもの 教室	イルカを調べてみよう☎	パネル、写真、標本を使った講義から生態や飼育管理を学び、イルカの生体を観察した。	4月6日	20人
	みてみてクラゲ	クラゲを間近で観察しながら、体のつくりやクラゲの一生について説明をし、体験的に知ってもらう機会とした。	5月11日	17人
	カワウソになってみよう☎	カワウソについての生態や現状をクイズやゲームを使って解説した。	6月8日	30人
	ペンギンの羽根と卵☎	フンボルトペンギンの羽根と卵に注目しながら観察を行い、卵のレプリカづくりを行った。	7月7日	23人
	貝の標本作り	水族館横の海岸にて参加者が実際に貝の採集を行い、採集した貝を用い、種の特長と標本作製の手順を学び実践した。	7月24日	17人
	プランクトンの観察	地先海岸でプランクトンネットを用いてプランクトン採集を行い、採集したプランクトンを小型顕微鏡を用いて観察をした。採集されたプランクトン、植物プランクトンと動物プランクトンを紹介し、食物連鎖の仕組みや生活排水による赤潮などを解説することで、プランクトンや身の回りの環境について詳しく知る機会とした。	9月8日	15人
	アシカとアザラシを知ろう	観覧通路やバックヤードで、飼育員の解説を聞きながら動物を観察し、毛皮などを見て・触って体のつくりを学ぶ機会とした。	10月12日	23人

	カエルの解剖 ^新	脊椎動物の体の仕組み、カエル特有の外部形態、解剖後の内臓の観察を行った。外来種としてのウシガエルの問題点などについても触れた。	11月9日	18人
	魚拓を作ろう	魚を観察し、絵を描いたり触ったりした。各部をよく観察して形態や機能を確認したのち、魚拓を作製した。	1月18日	18人
	生きものホネホネ観察 ^新	様々な生きものの骨を観察して、それぞれの形を比べる。	3月21日	中止
企画展示	海の生きものを集める～水族館の収集活動～	水族館が行っている展示生物の集め方や、採集に欠かせない網などの道具、輸送方法などを紹介。また活魚輸送車の仕組みを模型を使用し紹介した。	4/1～6/26 (3/15～6/26)	49,951人 (65,525人)
	身近に潜む海のキケン生物 ^新	身近に生息する危険な海洋生物の生体展示や解説パネルを用いて紹介。毒の成分、被害時の症状、応急処置、危険回避の方法などについて解説した。	7/12～9/16	151,612人
	新潟の淡水エビ・淡水カニ ^新	新潟県内に生息する淡水エビ・淡水カニの現状を紹介し、身近な水辺の多様性消失に警鐘を鳴らした。	10/11～12/1	47,766人
	第6回フォトコンテスト受賞作品展	館内で撮影した写真を募集しコンテストを行い、上位受賞作品の展示会を開催した。 応募点数：346点 展示点数：144点	12/13～2/24	36,425人
参加型イベント	にいがたフィールドガイド	にいがたフィールドを用い自然環境と希少生物の域外保全を紹介。季節変化を感じられるように定期イベントとした。	各月第3土曜日 (12～2月を除く)9回	70人
	スナガニ調査 ^新	スナガニ調査中の職員が、参加者(当日募集)にスナガニの観察・採集方法や体のつくり等について解説した。	9月21・28日、 10月2日	20人
	イルカバックヤードミニガイド	バックヤードやステージを解説しながら案内した。	10月12日・26日、11月2日・9日・30日	85人
	育成室開放	通常入室できない本館地下の育成室を、職員立ち会いのもと入館者に開放した。文章による解説は簡潔に点数を少なく設けた。立ち会い職員は注目しているものに対し、会話形式で解説を行った。	12月21日、1月18日、2月15日、3月21日	262人 最終回中止
	いきもの絵本読み聞かせ会 ^新	アクアラボにある絵本の読み聞かせと、その本に関わる生物について実物や標本またパネルを使ってレクチャーを行った。	12月13日、1月10日、2月14日、3月13日	66人 最終回中止
記念日イベント	世界カワウソの日	世界カワウソの日にちなみ、水槽でのカワウソ給餌解説とアクアラボでの体験イベントを通して、カワウソの生態や特徴、生息環境などを紹介した。	5月25日・26日	-
	ペンギンの日	ペンギンを正しく理解してもらうために、ペンギンの日限定のペンギン解説。標本の展示や当館の繁殖の取り組みの紹介、記念品作製やぬりえ、工作コーナーの設置を行った。	4月20日・21日	400人

特別ガイドツアー	ナイトツアー	通常観ることのできない閉館後の夜の水槽の様子を観察してもらい、昼と夜での生き物の活動の違いや外観の変化等を解説した。	8月23日・24日・30日・31日	83人
大人向け教室	写真教室	水槽撮影時に役立つ技術をレクチャーし、実際に館内で撮影を行った。	9月30日	22人

(2) 水生生物の収集、飼育、展示

区分	名称	内容	回数	参加人数
常設展示	飼育展示	600種 30,000点の魚類、海獣その他水生生物の飼育展示規模を維持、拡大	常設	-
常設解説	イルカショー	イルカの認知、行動能力などを解説し、楽しく学べるイルカショーを実施した。(約20分)	4~5回/日	444,729人
	マリンサファリ給餌解説	トドに餌を与えながら、体のつくりや生態について解説を行った。(約10分)	2回/日	-
	ラッコの給餌タイム	ラッコが餌を食べる様子を観察することができる。また、ラッコの生態、動作について給餌しながら分かりやすく解説を行った。(解説:約10分、4回目のみ)	4回/日	-
	ペンギン解説	ペンギン散歩道(夏季はペンギン海岸)でペンギンの歩く様子等を見ながら、分類や生態、生息地の環境について解説を行った。(約15分)	※給餌	-
	日本海大水槽解説	大水槽の展示生物の紹介や海洋環境に関する知識の普及、水族館のしくみまで多角的な情報を伝えた。(約10分)	2回/日	7,460人
	磯のいきもの解説	磯の体験水槽で、生物の扱い方や、生息環境について、解説を交えながら近くで観察してもらった。(約10分)	1~2回/日	2,126人
	アクアラボ体験	通常展示では伝えられないさまざまな生き物に関するプログラムを開催し、来館者へ発信した。	通年(繁期以外)279回	2,762人

区分	名称	内容	回数
生物収集	相模湾乗船	釣り(サクラダイ、シキシマハナダイなど)採集	1回
	能生乗船	カゴ漁(ベニズワイガニ、イサゴビクニン等)採集	1回
	佐渡乗船	定置網(ハナガサクラゲ、ホシザメなど)・カゴ漁(ホッコクアカエビ、トゲビクニンなど)採集	4回
	寺泊乗船	刺網漁(アカムツなど)・釣り(ハツメなど)採集	5回
	間瀬乗船	釣り(ハツメなど)採集	1回
	山形乗船	加茂水族館との共同採集	1回
	マリニピアI乗船	流れ藻、ブリ等採集	5回
	出雲崎・柏崎アマモ場	アマモ、コシマガリモエビなど採集	8回
	水族館地先	アカモク、マヒトデ、マナマコなど採集	8回
	巻漁港	ビゼンクラゲなど採集	1回

新潟県内淡水生物採集	シナイモツゴ、ジュズカケハゼ等採集	19回
ふくしま海洋科学館	マイワシなど	12回
東海大学海洋科学博物館	キンギョハナダイなど	5回
のとじま臨海公園水族館	キヌバリなど	3回
尖閣湾揚島遊園 水族館	イトマキヒトデなど	3回
いなわしろカワセミ水族館	アイズユキマス	1回
大洗水族館	クロヘリメジロザメ	1回
魚津水族館	タナカゲンゲなど	1回
寺泊漁協	ガンコ・ナガヅカ・アパチャンなど	38回
間瀬漁協	ポウウミイチゴ・マヒトデなど	15回
新潟漁協	コンペイトウ・クロゲンゲ・ザラビクニンなど	11回
信濃川漁協	ジュウサンウグイ・サケ発眼卵	2回
新潟県水産振興協会	アユ	1回
新潟県内水面水産試験場	ニシキゴイ	1回
福島県内水面水産試験場	ペリヤジ	1回

1 施設管理に付帯する事業

【事業目的】

施設利用者に対する利便性を図るため、レストラン及び売店、自動販売機等の設置。

【主な事業内容】

区分	場所	設置数
レストラン	本館2階	1ヶ所
軽食	屋外、屋上 ※季節営業	2ヶ所
移動販売車	アプローチ棟手前 ※季節営業	1ヶ所
売店	アプローチ棟	1ヶ所
自動販売機	館内各所	17ヶ所
ロッカー	本館1階	1ヶ所
記念メダル	本館1階	2ヶ所
プリクラ	水辺の小動物ゾーン	1ヶ所